

第3回 秦野市4駅にぎわい創造検討懇話会 (東海大学前駅)

令和5年8月30日(水)

午後7時～ 花本ビル3階会議室

秦野市4駅にぎわい創造検討懇話会とは？

まちに関わる様々な人のまちに対する 思い、アイデアを共有し、形にする場

- 自分事として将来のまち（将来の暮らし等）を考える・共有する。
- やりたいこと、できそうなこと（アイデア）を具体化し、実践・検証しながら、今後の自分達の役割、関わり方について考える。
- 懇話会を通じて、仲間づくりやまちに関わることの楽しさ・達成感につなげていく。

懇話会でやろうとしていること

- 自分たちができる、「まちにいいこと」を考える
- 「どこで」「なに」をやるとまちが活性化しそうかを考える
- 実際にやってみる
例えば…「空地でマルシェをやってみる」「道端にベンチを置く」
- 活動と議論を積み重ねる。



- 実際の体験などをもとに、自然体のまちの方向性づくりを行う。
- 行政は、活動を支援する形で、できること・やるべきことを施策とする。



まちの活性化・多くの人がまちのにぎわいづくりに参加したくなる

にぎわい創出のヒント

1

だれもが「住民」として、活動していく

住んでいる人だけでなく、まちに関わる人誰もが「住民」として、できることから活動していく

2

まちの特徴・魅力を再発見していく

新たに作るだけでなく、今あるまちの特徴・魅力を再発見していく

3

まちの特徴・魅力を発信していく

再発見したまちの特徴・魅力を、伝えていきたい人に発信していく

第2回目の成果

- ▶ 日 時 : 令和5年6月26日(月) 19時~20時40分
- ▶ 会 場 : 花本ビル3階 会議室
- ▶ 参加人数 : 13名
- ▶ 概要
 - ・それぞれが思うに“にぎわい”について
意見交換
 - ・座長の決定



次第及び懇話会で話し合われた内容

1 開会	
2 懇話会について	産業振興課から資料に沿って説明
3 ワークショップ 【東海大学前駅周辺の特徴や魅力を見える化する マップづくり】	
(1)にぎわいに関するデータの紹介 東海大学前駅周辺の“にぎわい”とは	
(2)ワークショップの進め方について	産業振興課から資料に沿って説明 (⇒ワークショップは先送り)
3 参加者の思うにぎわいについて	それぞれが思うにぎわいについて意見交換
4 座長の再検討	山本さんが座長を務めることが決定
5 閉会	

懇話会で話し合われた内容

東海大学前駅周辺の強み・弱み

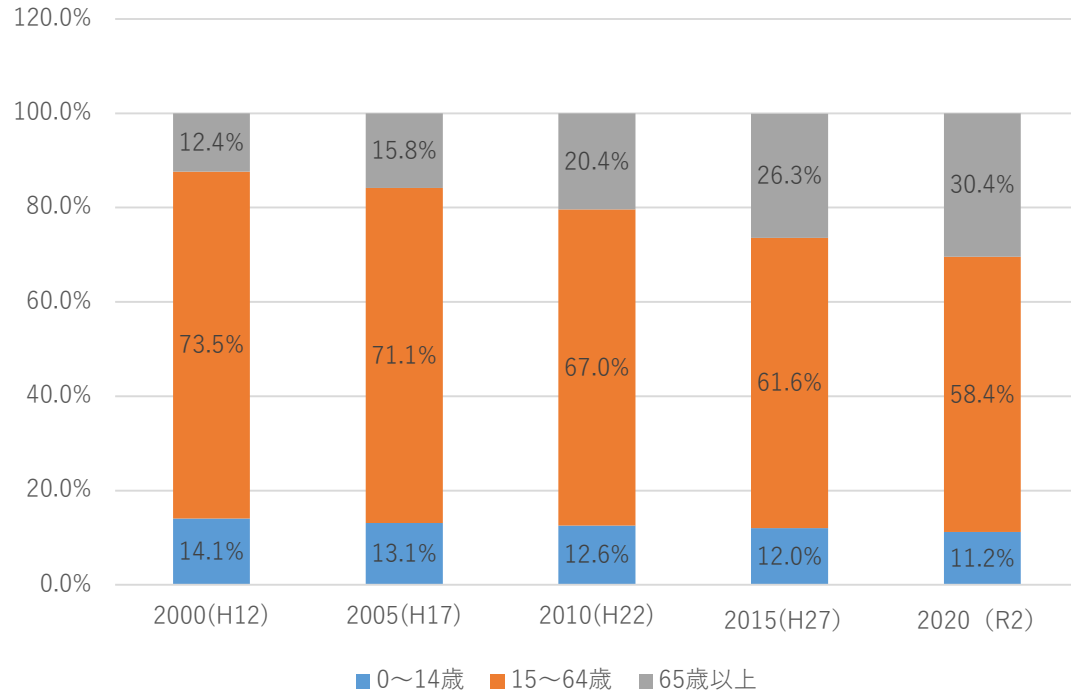
	強み	弱み
ハード	<ul style="list-style-type: none"> ・広い駅前広場 ・東海大学 ・平塚駅から東海大学1号館前経由で東海大学前駅へバス路線が開設 ・おおね公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・天然温泉さざんか閉店 ・駅前広場の有効活用 ・東海大学と東海大学前駅の間にはバスの停留所がない。(平塚駅⇔東海大学前駅) ・代表する観光施設がない。
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・東海大学生 ・平塚市民 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生がまちにとどまらない。 ・学生が商店会を使用しない。 ・平塚市民の取り込みができていない。 ・定期的に行われるイベントがない。

懇話会で話し合われた内容

まちのにぎわいに繋がる考え方

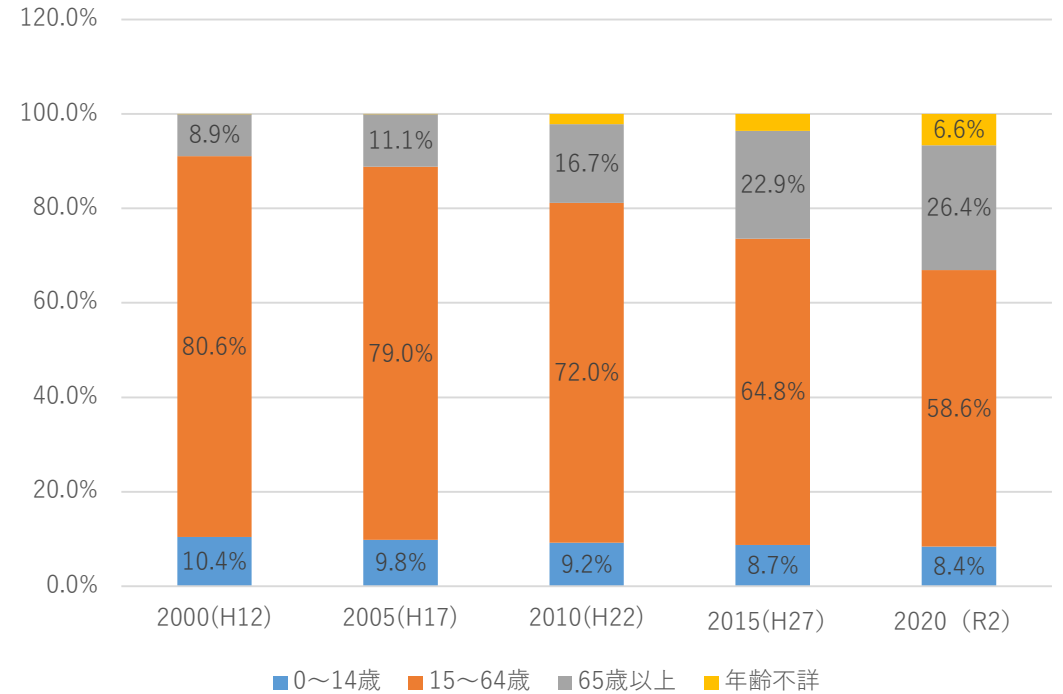
- ・まちに人をとどまらせる、人を呼ぶ、滞留させる取り組み
- ・東海大学との関わり
- ・駅前広場の有効活用

年齢別人口割合（秦野市全域）



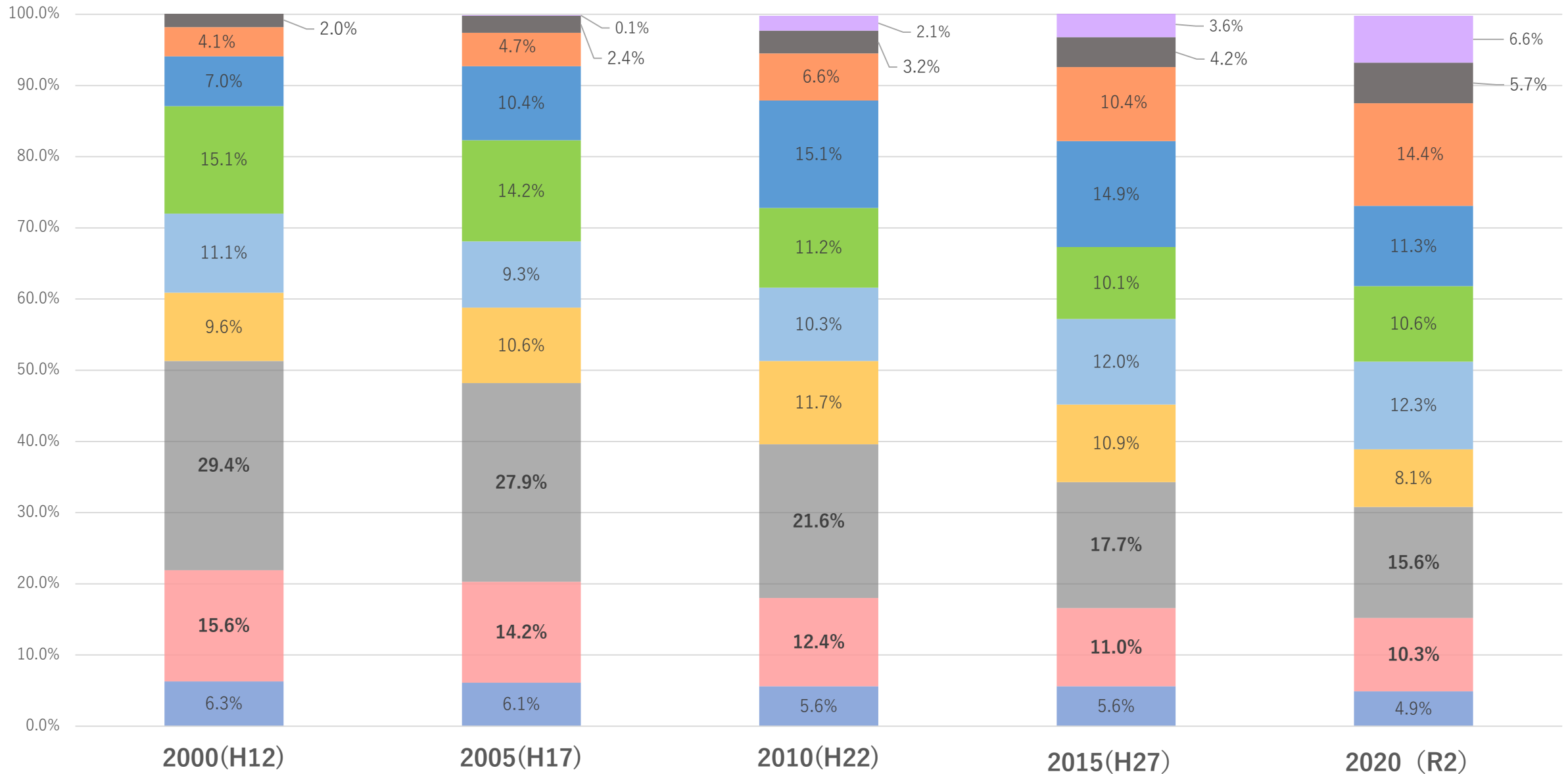
20年間で、65歳以上の割合が約18ポイント増加している。

年齢別人口割合（東海大学前駅周辺）



秦野市全域に対して、0~14歳の割合がやや低い。65歳以上の増加割合が約17.5ポイントと、ほぼ秦野市全体とかわらない増加傾向にある。

年齢別人口割合（東海大学前周辺）



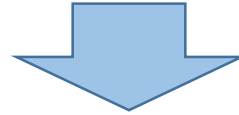
■ 10歳未満
 ■ 10歳代
 ■ 20歳代
 ■ 30歳代
 ■ 40歳代
 ■ 50歳代
 ■ 60歳代
 ■ 70歳代
 ■ 80歳以上
 ■ 年齢不詳

今後考えていくこと

まちの魅力・特徴・足りないものについて意見出し

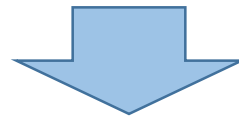


今回



魅力や特徴を活かしていくために・足りないものを改善していくために、
できることのアイディア出し

東海大学前駅周辺のにぎわい創造のテーマの検討



実際にどんな取り組みができるか考える

今回考えていく内容

東海大学前駅周辺の特徴や 魅力を見える化するマップづくり

初めて東海大学前駅周辺を訪れ、

- これから“東海大学前駅周辺”に住みたいと考えている人
- これから“東海大学前駅周辺”でお店を出したいと考えている人
- “東海大学前駅周辺”に都心から訪れる友人に、
あなたはどこを紹介しますか？

ソロワーク①(5分)

あなたがまちを紹介する人物を考えよう

● “この人”はどんな人？ (年代、性別、家族構成、趣味など)

「この人”ならこんな考え方や行動をするだろう」というシミュレーションをするため、“ペルソナ”という架空の人物像を設定します。

これから秦野に住もうかな、行こうかなと考えている人【例①】

どんな人か？

(年代、仕事、性別、家族構成、趣味など)

年代・性別：30代半ば・男性

仕事：サラリーマン（相模原市に勤務）

家族構成：本人、妻（育休中）、
子ども（もうすぐ1歳）

趣味：スマホゲーム、スキーなど。（今は仕事
家事、育児忙しく、趣味の時間が持て
ない。休みの日は家族と過ごす。）

その他：

- ・子どもが生まれたのをきっかけにマイホーム
又はマンションを探している。
- ・職場まで1時間以内の場所で、秦野市内に職場がある妻
（車通勤）にも近い場所で住まいを探している。
- ・妻の実家は松田町。



これから秦野に住もうかな、行こうかなと考えている人【例②】

どんな人か？

(年代、仕事、性別、家族構成、趣味など)

年代・性別：50代後半・女性

仕事：主婦・週3でパート。

家族構成：本人、夫（サラリーマン）、
長男（社会人）、長女（大学生）

趣味：時々友達と食事に行っておしゃべりを
すること。掃除好き。

その他：

- ・子育ても終わり夫ももうすぐ定年なので、
最近、老後はどう過ごそうか考えている。
- ・都内に住んでいる。
- ・周りも子育てなどが落ち着き、友人同士で
出かける機会が増えてきた。



ソロワーク①(5分)【ワークシート】 あなたがまちを紹介する人物を考えよう

- “この人”はどんな人？
(年代、性別、家族構成、趣味など)

これから秦野に住もうかな、行こうかなと考えている人

どんな人か？
(年代、仕事、性別、家族構成、趣味など)

年代・性別：

仕事：

家族構成：

趣味：

その他：

「“この人”ならこんな考え方や行動をするだろう」というシミュレーションをするため、“ペルソナ”という架空の人物像を設定します。

ソロワーク②(10分)

ソロワーク①で設定した人に、まちの特徴や魅力を紹介するまち歩きルートを考えよう

- まちの特徴や魅力となるもの・こと・場所は何か？
それらを紹介・巡るためには、どんなルートを通るか？
- まちの特徴や魅力を伝えるために足りていないもの・ことは何？

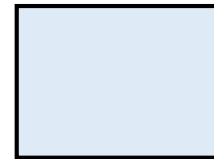
これから秦野に住もうかな、行こうかなと考えている人



まちの特徴や魅力



秦野市の特徴や魅力



足りていないもの・こと

まち歩きルートを考えることで、まちの特徴や魅力はどこに分布しているのか、にぎわいが生まれやすい場所、よく利用される道はどこかを整理します。また、まちの特徴や魅力を伝えるために足りていないもの・ことを考えることで、課題解決のカギは何かを共有します。

ソロワーク②【ワークシート】

ソロワーク①で設定した人に、まちの特徴や魅力を 紹介するまち歩きルートを考えよう



グループワーク(10分)

ソロワーク①②で考えたまち歩きルートを グループ内で共有しよう

グループワーク

●東海大学前駅の特徴や魅力

●秦野市の特徴や魅力

●まちの特徴や魅力を紹介するた
めに、足りていないもの・こと



まちの特徴や魅力



秦野市の特徴や魅力



足りていないもの・こと



ワークショップのルール

ワークショップは、趣旨に則った意見交換の場です。

●全員が発言できるように、話は簡潔にまとめ、他の人の意見も十分に聞けるようにしてください。

◎自主性（自発性）を存分に発揮しましょう。

◎参加者相互の立場を尊重しましょう。

（他人の意見の非難・中傷はご遠慮ください。）

◎目的や情報など基礎的な共通認識を参加者で共有しながら進めましょう。

◎ワークショップを楽しみましょう。

全体発表（1班3分程度）

グループワークのまとめを発表し、
みんなの考えを共有する。

グループワークのまとめを発表する人を1名決めてください。

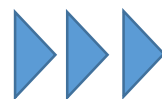
学生や関係団体を巻き込んだ地域社会を支える商店街づくり (下町人情キラキラ橋商店街/ 東京都墨田区)

課題

- ・ 店主の高齢化による、空き店舗増加
- ・ 消費者ニーズやライフスタイルの変化への対応
- ・ 商店街づくりを行う人材と組織の確保



◀キラキラきっずくらの外観



実施内容

千葉大学と協働し、**学生が商店街づくりに参画**

①キラキラきっずくらぶ

商店街内の空き店舗を改装し、子どもが屋台を使って自由にまちづくりを行う「屋台遊び」の場を整備。

②デザデザ橋商店街実行員会

商店街と学生をつなぐ学生団体を設立。**学生のアイデアを商店街づくりに活かす活動を展開。**



取り組みの成果

- ・ 新規出店者の増加と商店街全体の店舗数回復

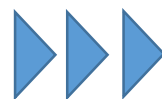
商店街の店舗数が減少し、活気が失われつつあったが、来街者のニーズを満たすテナント誘致や、学生を巻き込んだまちづくりなどにより、にぎわいのある商店街へと徐々に変化。**商店街の雰囲気の魅力を感じた若者などが洋服店やカフェ、ベーカリーなどを開業し、2020年は4店舗、2021年は3店舗の新規出店が続いている。**

【参考資料】他市事例紹介

定期的・継続的なイベントの開催による商店街の活性化 (みやのかわ商店街/ 埼玉県秩父市)

課題

- ・夜型に移行する**消費者の生活行動への対応**
- ・商店街の活性化を担う後継者の育成
- ・高齢化など地域の社会課題への対応



実施内容

- ・**ナイトバザール**の実施
- ・「おまかせ主義」による人材育成。イベントは、やる気のある**若手人材に一任**、若手が成功経験を積み上げるとともに、挑戦の機会を与えることで、**主体性のある後継者を育成**。



取り組みの成果

- ・ナイトバザールの成功がきっかけで、全国からの視察依頼が増え、商店街との交流が生まれたことで商店街の知名度が向上し、来訪者が増えたことで、観光地の活性化など、**地域経済の発展に寄与**している。
- ・定期的・継続的にイベントを開催することで、**まちに欠かさないイベントまで成長**。(ナイトバザールは**35年間で300回以上開催**) 来街者を飽きさせないために毎回異なるテーマで実施。
- ・空き店舗ゼロを維持



▲みやのかわナイトバザールのチラシ

ナイトバザールでは、店を回るスタンプラリーや秩父屋台囃子や白浜太鼓の演奏などが行われる。また、ダンサーと演奏者130人が参加する大サンバパレードも開催されたこともある。(一例)

参考) 商店街における取組事例集
地域の持続可能な発展に向けた商店街づくりのノウハウ集: 別冊

ヤツカ×地域プロジェクト おこたCLUB (谷塚駅周辺/ 埼玉県草加市)

「おこたCLUB」は、谷塚駅西口まちづくり用地の新しい活用方法を考えながら、地域コミュニティの創出を目指すユニット。谷塚駅周辺エリアにある地域資源の認知と活用・地域経済の活性化・地域コミュニティの形成を目的に、**駅前
の広場にこたつを並べて新しい景色をつくる**「おこたCLUB」を開催。



次回の懇話会について

■ 日 程

候補① 10月25日(水) 19時～

候補② 11月1日(水) 19時～

■ 次回以降考えていくこと

魅力や特徴を活かしていくために・足りないものを改善していくために、
できることのアイデアを考えていきます。